

ブラジル大統領の汚職隠ぺい疑惑続報～その2～

2017年5月25日

お伝えしたいポイント

- 最高裁判所は疑惑の捜査を停止する判断を留保
- 政局不透明感により、大手格付会社は格付けを見直すことを発表
- 政府は財政再建の姿勢を堅持

<最高裁判所は疑惑の捜査を停止する判断を留保>

5月20日（現地時間、以下同様）、テメル大統領は、汚職隠ぺいの証拠とされる録音テープについて、証拠は改ざんされたものであるため、汚職隠ぺい疑惑の捜査を停止することを最高裁判所に求めたことを公表しました。

一方で、録音テープへの改ざんの有無に関する検察の調査は続いていることから、最高裁判所は汚職隠ぺい疑惑の捜査を停止する判断を留保しています。

<政局不透明感により、大手格付会社は格付けを見直すことを発表>

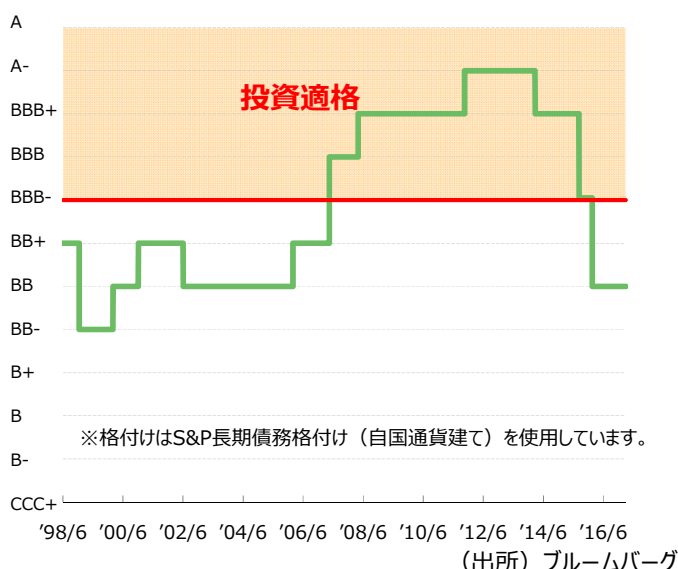
格付会社スタンダード&プアーズ（S&P）は22日、ブラジルのソブリン格付けを引き下げ方向でのクレジットウォッチに指定したと発表しました。テメル大統領の汚職隠ぺい疑惑で政治の不確実性が急激に高まり、財政再建が滞りリスクがあると指摘しています。

格下げ方向のクレジットウォッチは、格付けが3カ月以内に引き下げられる可能性を意味しています。

クレジットウォッチの指定を受けて、ブラジル財務省は、財政均衡を目指す構造改革などを通じて経済の回復に取り組む方針をあらためて表明しています。

格付けの推移

（1998年6月末～2017年4月末）



当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

<政府は財政再建の姿勢を堅持>

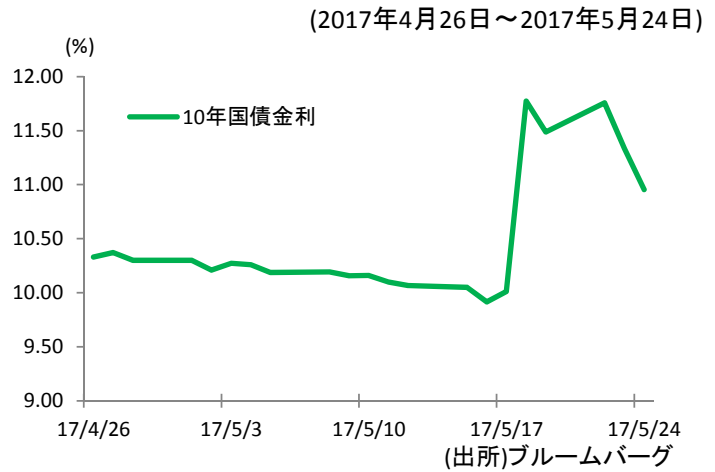
23日に、メイレス財務相が政治の混乱に関わらず政府は構造改革を進めると述べたことや、マイア下院議長が6月上旬に年金改革を含む社会保障改革法案の審議をすると述べたことを受け、直近の安値からブラジル金融市場は反発しています。

24日時点で、直近安値（18日時点）から、ブラジル・レアルは、対円で3.0%の上昇、対米ドルでは2.9%上昇しました。主要株価指数であるボブスパ株価指数は2.7%の上昇、10年国債の金利は0.82%ポイント低下（価格は上昇）しました。

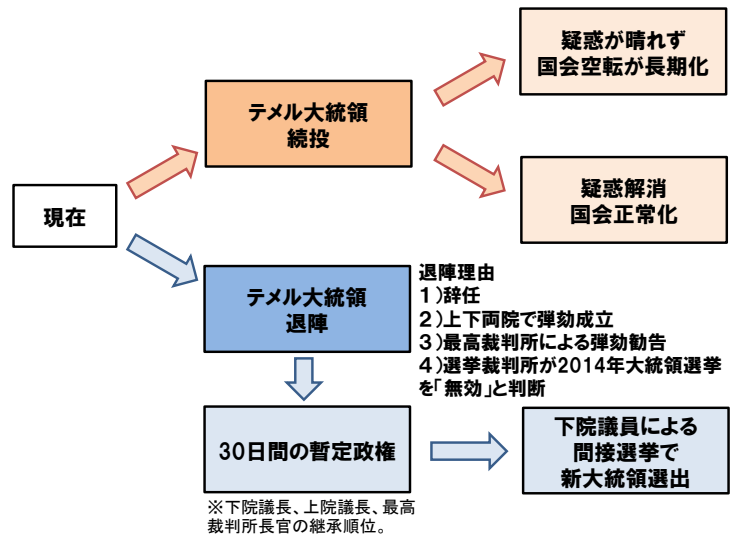
財政再建における最重要のイベントと位置づけられる、社会保障改革法案の採決に関しては、上下両院において議員の5分の3の賛成（下院308議席、上院49議席）が条件となっています。下院での同法案の採決は、ブラジル政府の財政再建の意思が揺るがないものかどうかを確認する試金石として注目されます。

また、一部の与野党の議員が大統領の弾劾を議会に請求しているほか、連立政権を組む一部の政党が野党に回る動きがみられるなど、政局は不透明です。テメル大統領の去就や法案採決への影響は現時点で不確定な部分が多く、今後の進展を見守る必要があると考えています。

国債金利の推移



想定される今後の政局シナリオ



以上

<ご参考> 当社の関連リサーチ

下記のリサーチでは、直近のブラジルに関するテーマやその背景などをお伝えしています。

マーケットレター

- ・ブラジル大統領の汚職隠ぺい疑惑の続報(2017/5/22)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170522_1.html
- ・ブラジル大統領の汚職隠ぺい疑惑と今後の注目点(2017/5/19)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170519_1.html
- ・ブラジルの政策金利引き下げと金融市場見通しについて(2017/4/13)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170414_3.html
- ・ブラジルが政策金利を0.75%ポイント引き下げ(2017/2/24)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170224_1.html
- ・ブラジルが政策金利を0.75%ポイント引き下げ(2017/1/12)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170112_1.html

動画

- ・ブラジルマクロ経済～構造改革と利下げで経済環境見通しが改善するブラジル経済～(2017/1/16)
<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov13.html>
- ・ブラジル債券市場～良好な投資環境が続くブラジル債券投資～(2017/1/16)
<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov14.html>
- ・ブラジル株式市場～新政権による改革～(2017/1/13)
<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov11.html>

Weekly Report

- ・ブラジルの金融市場動向(毎週更新)
<http://www.daiwa-am.co.jp/market/weeklyreport.php?type=6>

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200%（但し、最低2,700円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会